



Youth Through the Lens

写真で語る若者たちの世界

参加費
無料

From Japan to India: Youth Perspectives and Social Change

JSPS科研費 基盤B 25K03357「インド「不可触民」の比較民族誌的研究」関連イベント

オーストラリア・アジア研究所・国際学部 共催 講演・ワークショップ

2026年10月27日(火) 4限 16:00-17:45 総持寺キャンパスベース棟2階 BNC203

インドは世界最大級の若者人口を抱える国として知られている。しかし、「若者」という言葉から想像される姿は様々ではない。都市部でグローバル化の恩恵を受ける若者たちがいる一方で、農村部や部族社会、そしてカースト制度のもとで長年差別を受けてきたダリットの若者たちは、今日もなおさまざまな社会的・経済的困難と向き合いながら生きている。

写真家・映像作家のスダーラク・オルヴェ氏は、長年にわたりダリットや周縁化されたコミュニティの人々に寄り添いながら、その暮らしや声を写真と映像で記録してきた。近年は農村部や部族地域にも活動の場を広げ、急速に変化するインド社会のなかで若者たちが抱く希望、不安、葛藤、そして未来への思いを丁寧に描き出している。オルヴェ氏の作品は、社会の周縁に置かれた人々を単なる「支援の対象」としてではなく、自ら語り、創造し、社会を変える力を持った主体として捉えている点に特徴がある。

本ワークショップでは、「Youth」を共通テーマとして、日本とインドの若者たちのまなざしをつなぐ。

第1部では、本学学生が撮影した写真作品について、オルヴェ氏からコメントをいただきながら、私たち自身が「Youth」をどのように捉えているのかを考える。第2部では、オルヴェ氏が農村部、部族地域、ダリット・コミュニティで撮影した写真や映像をもとに、現代インド社会の若者たちの現実と希望について語っていただく。異なる社会に生きる若者たちの経験を写真を通して結びつけることで、「他者を学びながら自己を知る」機会としたい。

多様な背景をもつ人々が尊厳をもって生きる社会とは何か。未来への希望をどのように育むことができるのか。参加者とともに考えたい。

講師:スダーラク・オルヴェ氏

(フォトジャーナリスト、Photography Promotion Trust創設者兼ディレクター)



インドのムンバイを拠点に活動する社会ドキュメンタリー写真家。全国紙のタイムズ・オブ・インディアをはじめとするさまざまな主要メディアの写真部門で要職を歴任している。
2016年にインド大統領からインドで高位の文民賞である「パドマ・シュリ賞」を授与された。

対象：学生・教職員・一般の方（要申込）

問
合
せ

追手門学院大学 オーストラリア・アジア研究所

TEL.072-665-9217

cas@otemon.ac.jp

お申込はこちら



<https://forms.gle/ZzPsFAG7ogo9hXi47>



追手門学院大学